NTSC

コンパチブル レーザーディスク プレーヤー

CLD-R5

取扱説明書

パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。
本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書を本機ご使用の前に最後までお読みください。特に、「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになった後は、「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に保存してください。使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっとお役にたちます。
●業務用には対応していません。

目 次

操作前の準備
安全上のご注意 2
正しく、末永くお使いいただくために 3
特　長 4
本機で再生できるディスクの種類 5

接続
接続のしかた 6
音声／映像入力端子のあるＡＶテレビを使用する場合 6
VTRと組み合わせて使用する場合 7
音声をより良い音質で再生したい場合は 7
別売のレーザーディスクグラフィックスデコーダー（LG-1）を接続する場合 8

基本操作編
各部の名称 9
前面部 9
リモコン 9
表示窓 10
リモコンを使うには 11
LDを見る 12
CDを聞く 13
見／聞き終わったら 14
今より前（後）を見る／聞く 15
つづきから見る（LD） 16

応用操作編
音声を切り換える 17
映画ディスクを楽しむ 18
クッキリ、すっきり画面にするには（ファインワイド） 18
見たい（聞きたい）ところを探す（スキャン） 19
見たい場面を探す（サーチ） 20
繰り返して見る・聞く（リピート再生） 21
希望の順番に並び換えて再生する（プログラム再生） 22
プレーヤーの選ぶ順番で再生する（ランダム再生） 24
トリック再生（LD標準ディスクCAV） 25
情報を見る 26

その他
故障？ちょっと調べてください 27
お手入れ 29
用　語 30
保証とアフターサービス 31
仕　様 31

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

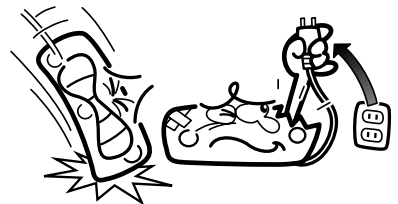
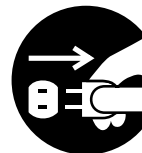
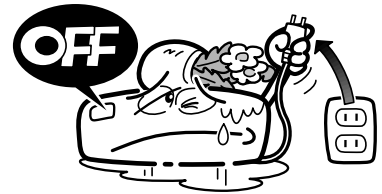
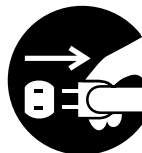
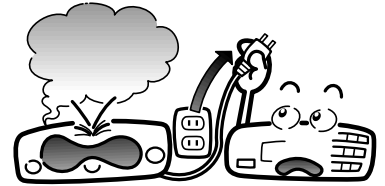
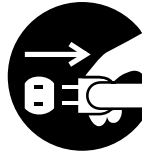
安全上のご注意

⚠警告

〔異常時の処置〕

● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置

● 付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

正しく、末永くお使いいただくために

■再生中は本機を絶対に動かさない

再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。

■本機を移動する場合

本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出し、オープンクローズ（▲）ボタンを押して、ディスクテーブルを閉じてから、電源ボタンを押して、表示窓の「-OFF-」が消えてから電源コードを抜いてください。

■設置する場所

- 組み合わせて使用するテレビやステレオシステムの側の安定した場所を選んでください。
- ステレオシステムと一緒に使う場合、スピーカーとモニターテレビは少し離してください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

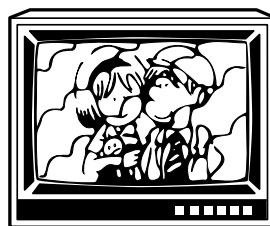
■結露について

冬期などにプレーヤーを寒いところから温かい室内に持ち込んだり、プレーヤーを設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露）。結露したままではプレーヤーは正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、プレーヤーの電源を入れて1〜2時間放置し、プレーヤーの温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。
夏でもクーラーやエアコンの風が、プレーヤーに直接あたると結露がおこることがあります。その場合はプレーヤーの設置場所を変えてください。

■ガラスドア付きラックに入れたときのご注意

ガラスドアを閉めたままリモコンのオープン／クローズボタンを押して、トレイを開けないでください。強い力でディスクテーブルの動きが妨げられると、故障の原因になります。

■本機を使わないときは電源を切っておく

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。

特　長

1．コンパチブルレーザーディスクプレーヤー

本機は、30cmのビデオディスク：LDから、8cmコンパクトディスク：CDシングルまで、アダプターなしで再生できるコンパチブルレーザーディスクプレーヤーです。

2．ラストメモリー機能 P.16

本機は、LDの再生を中断したあと、そのつづきから再生ができる、ラストメモリー機能があります。また、中断前のあらすじを再生してから、つづき再生をすることもできます。

3．両面再生機能 P.12

本機は、両面再生ディスクの両面を連続して再生できます。ディスクを裏返す必要がありません。そのうえ、クイックターン機能により再生までの開始時間を短縮し、A面からB面、B面からA面に連続再生するときの反転時間も短くできます。

4．AC-3•RF 出力端子付き P.7

本機は、ドルビーAC-3 DOLBY SURROUND AC-3 DIGITAL に対応しています。AC-3·RF入力のあるアンプやサラウンドプロセッサーと接続し、ドルビーAC-3対応LDソフトを使用すると、5.1chデジタルサラウンド音声を楽しむことができます。

ドルビー、DOLBY、AC-3およびダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。

5．クリアスキャン P.15

本機は、長時間ディスクCLVやCDVのビデオパートを、クリアな間欠画像で早送りすることができます。

6．多彩なスキャン／サーチ機能 P.19 P.20

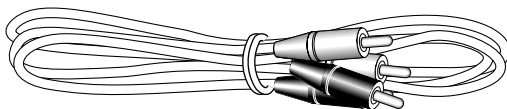
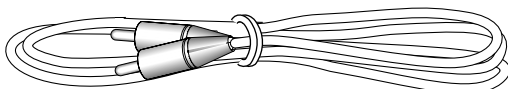
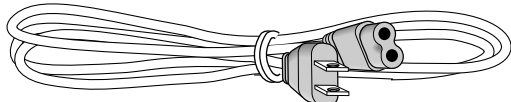
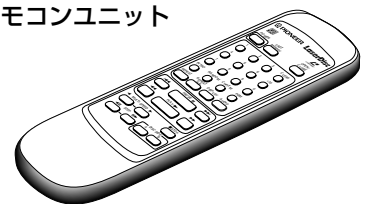
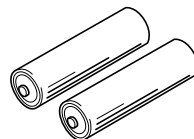
本機は、ディスクの内容をすばやく知りたいときに便利なスキャン機能を、通常スキャン、クリアスキャンに加えて、各チャプターの頭の8秒間を次々に再生するイントロスキャン、各トラックの頭から1分後の8秒間を次々に再生するハイライトスキャンの、4種類装備しています。
また、再生する箇所を指定するときに便利なサーチ機能は、チャプター／トラックナンバーで指定するダイレクトサーチ、フレームナンバーで指定するフレームサーチ、およびタイムナンバーで指定するタイムサーチの、3種類装備しています。

7．くり返し機能 P.21

本機は、CD、LDともに指定した場所に戻るリピート再生、指定した区間を繰り返し再生する2点間リピート再生、ディスクの片面を繰り返し再生する片面リピート再生、プログラムを繰り返し再生するプログラムリピート再生、ランダムリピート再生、そしてLDにはディスクの両面を繰り返し再生する両面リピート再生、1チャプターだけを繰り返し再生する1チャプターリピート再生、CDには1トラックだけを繰り返し再生する1トラックリピート再生を装備しています。

8．画面調整機能（ファインワイド） P.18

画面サイズ16：9のワイドテレビでは、画面を伸張したときに通常のテレビにくらべて画質がボケ気味に見えることが多いので輪郭補正機能をもたせました。

付属品を確認してください。

本機で再生できるディスクの種類

本機は、コンパチブル レーザーディスク プレーヤーです。
- 下表に表示されたマークはディスクのレーベル、またはジャケットに付いています。
  本機は、下記の7種類のディスクをアダプター無しで、再生することができます。
- 故障などを防ぐため、8cmアダプター（CD用）や20cmアダプター（LD用）は使わないでください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ／再生面	最大再生時間	
CD COMPACT disc DIGITAL AUDIO	CD 12 cm/片面	74分	
	CDシングル 8 cm/片面	20分	
CDV CD VIDEO	CDV 12 cm/片面	デジタル音声 20分 デジタル音声＋映像 5分	
VSD VIDEO SINGLE DISC	VSD 12 cm/片面	デジタル音声＋映像 5分	
レーザーディスク LASER DISC LaserVision CD VIDEO LD	LD 30 cm/両面	CAV	1時間
		CLV	2時間
	LD 20 cm/両面	CAV	28分
		CLV	40分
	LDシングル 20 cm/片面	CAV	14分
		CLV	20分

上記以外は再生できません。

（例）　ビデオ CD、CD-ROM、
　　　　LD-ROM、ハイビジョン LD等

ご注意

ビデオ CD [ ] は

再生できません。
（ビデオ CD とは、最大 74 分のデジタル画像／音声が記録されているディスクです。）

本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合しています。他のテレビ方式（PAL、SECAM）のディスクは使用できません。

ディスクの持ちかた

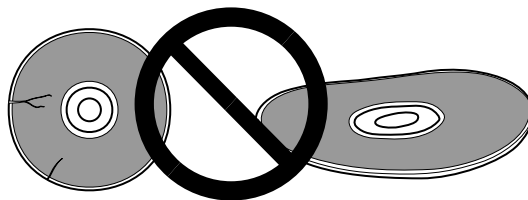
	LD	CD、CDV
両手で持つ場合 ディスクの両端をはさんで持つ。		
片手で持つ場合 中央の穴と外周部に指をかけて持つ。		

⚠注意

紙などを貼らない。
ディスク面に触れない。

- レーベル面に紙やシールなどを貼付けたり、キズを付けないようにして下さい。のりなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなどの故障の原因になります。**特にレンタルディスクにおいてはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがあるのでのりなどのはみ出しを確認してから使用して下さい。**

ひびやそりのあるディスクは絶対に使わない

ディスクはプレーヤー内で高速回転します。ひびがはいってしまったディスクや大きくそってしまったディスク、接着剤等で修復されたディスクは危険ですので、絶対に使用しないでください。また、レコードスプレー、静電気防止剤等は、ひび割れの原因になりますので使用しないでください。

■ディスクの保管
- ディスクは従来のアナログレコードと同様プラスチック製です。そらないように注意し、必ずケースに入れ、直射日光や高温多湿の場所、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。車のシートの上なども予想以上に高温となりますので、置かないでください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

操作前の準備

接続のしかた

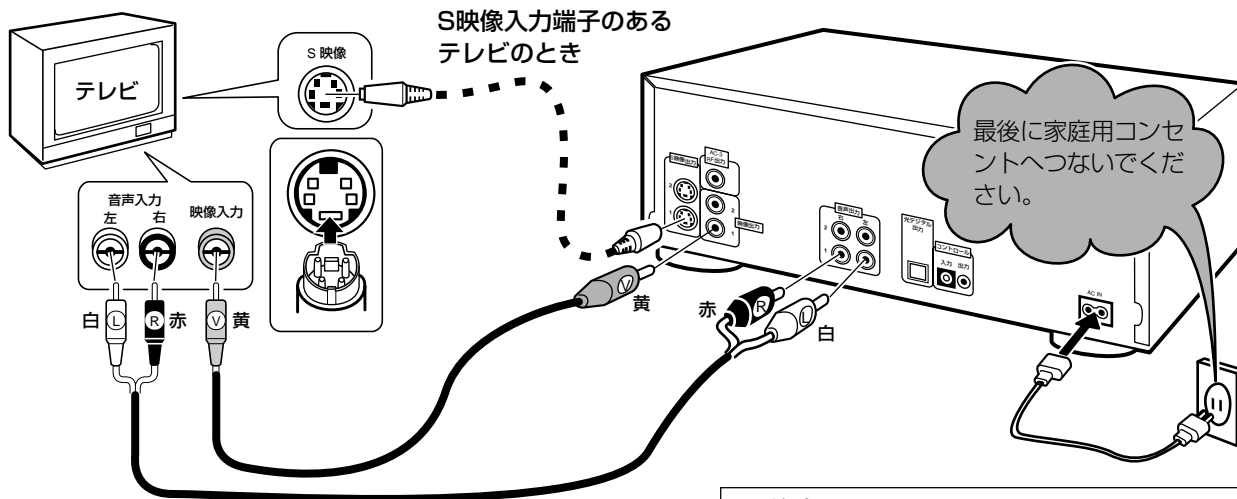
お手持ちのテレビ（ビデオ）に合わせて下記より選んでください。

	お手持ちの機器	参照する	コメント
映像入力のあるテレビ		**図1**	AVテレビに映像入力があるかまたは空いていれば、この接続方法がもっとも簡単です。
テレビとVTRが接続されている	＋	**図2**	もし、テレビの映像入力が2～3系統あり、映像入力が空いているならば、図1の接続の方が便利です。

さらに、ステレオアンプやAVアンプ、AC-3・RF入力付きアンプなどと接続もできます。これらの機器とも接続する場合は図3を参照ください。アンテナ入力のみのテレビと接続するときは図1の下を参照ください。

⚠注意　　付属の電源コード以外は使用しないでください。故障の原因になります。

図1　音声／映像入力端子のあるAVテレビを使用する場合

● 端子の色（白、赤、黄）とプラグの色を合わせて接続すると、容易に接続できます。
● 映像入力が何系統かあるテレビの場合、画面の選択をしてください。（ビデオ1、ビデオ2など）
● 接続するテレビ（モニターテレビまたはVTR）の取扱説明書も合わせてご覧ください。

ご注意
実線は付属のコードです。
点線は別売のコードをご利用ください。

次のような場合には、右図のようにVTRなどの入力端子と接続してください。(接続のしかたは図2を参照してください)
● テレビの入力端子がすでにVTRなどと接続されているとき
● アンテナ入力のみのテレビのとき

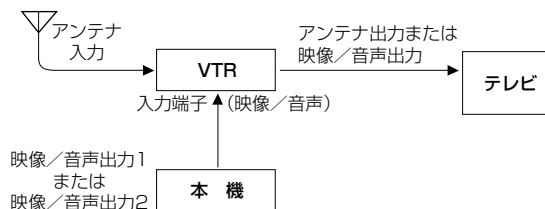



図2 VTRと組み合わせて使用する場合

- 端子の色（白、赤、黄）とプラグの色を合わせて接続すると、容易に接続できます。
- 下記の接続では、LDを見る場合VTRの電源を入れ、VTRの入力を「外部入力」へ切り換えてください。そして、いつもVTRを見るようにテレビを操作してください。

ご注意
実線は付属のコードです。
点線は別売のコードをご利用ください。

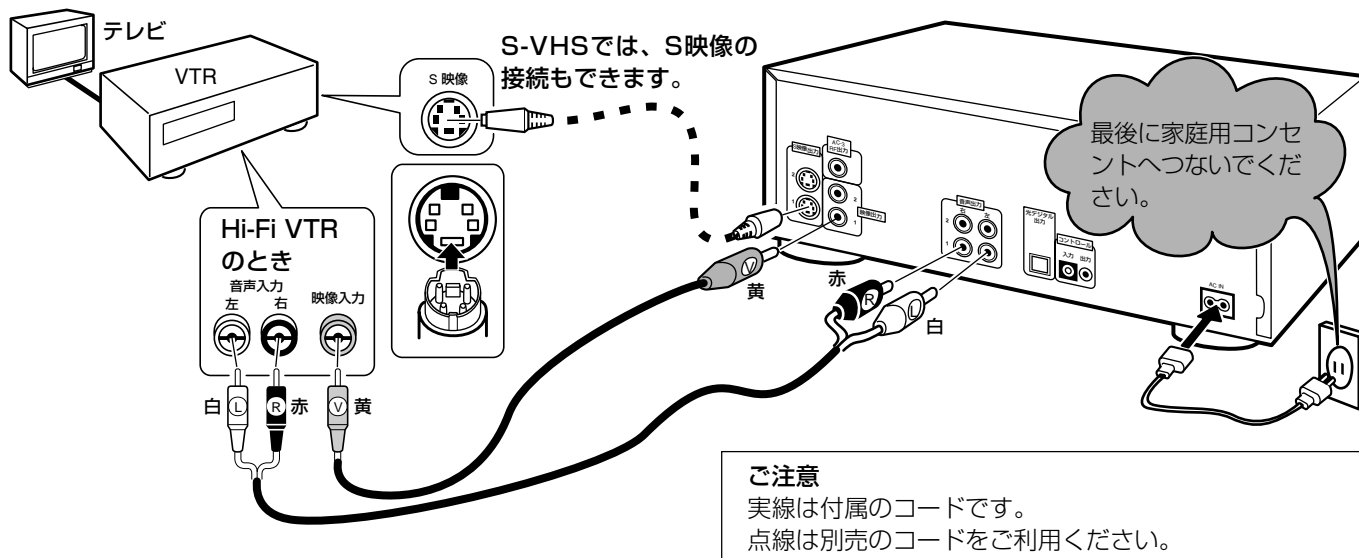
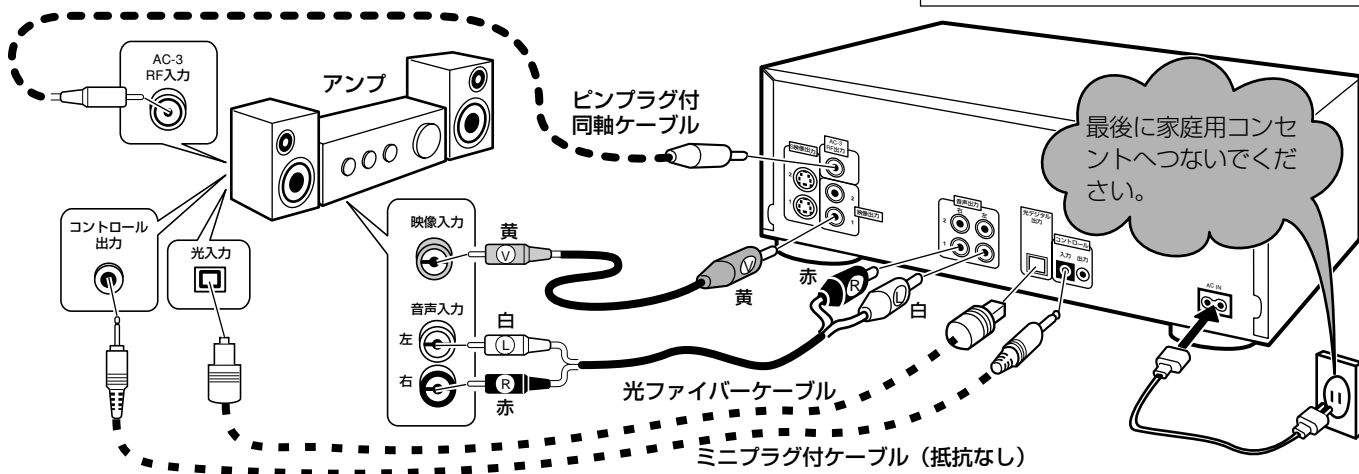



図3 音声をより良い音質で再生したい場合は

AVアンプやステレオアンプに接続すると、ディスクの音声をより良い音質で再生することができます。

- 本機の音声出力端子とアンプのCD、LD、AUXなどの音声入力端子を接続します。（PHONO端子には接続しないでください。）
- 本機の映像出力端子とアンプの映像入力端子を接続します。
- 本機のコントロール入力端子とアンプのコントロール出力端子を接続します。

ご注意
実線は付属のコードです。
点線は別売のコードをご利用ください。

AC-3・RF出力端子について

AC-3（デジタルマルチ音声フォーマット）対応の出力端子です。**AC-3・RF入力のあるアンプやサラウンドプロセッサーと接続し、ドルビーAC-3対応のLDソフトにより**再生できます。

- **ドルビーAC-3に対応していないLDソフト、AVアンプ等では再生できません。**
- 通常のステレオアンプ、AVアンプ等の音声入力端子には接続しないでください。

●パイオニアの SR マーク付きの機器と接続する場合は

市販のミニプラグ付ケーブル（抵抗なし）を使って、本機のコントロール入力端子と SRマーク付きの機器のコントロール出力端子を接続すると、システムとして本機もコントロールできます。

- システムコントロール接続をすると、本機に向けてリモコンで直接操作することはできません。
- 詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

図4　別売のレーザーディスクグラフィックスデコーダー（LG-1）を接続する場合

本システムはレーザーディスクグラフィックスデコーダー（LG-1）を接続することによって、CDグラフィックス、LDグラフィックスがお楽しみいただけます。

● アンテナ端子だけのテレビの場合は6ページの下を参照してください。

各部の名称

前面部

リモコン

電源ボタン P.12 P.14

数字ボタン P.20 P.22

ランダムボタン P.24

イントロボタン P.19

リピートボタン P.21

リピートA-Bボタン P.21

|◄◄・►►|：頭出しボタン P.15

◄◄：早戻しボタン P.15

►►：早送りボタン P.15

►：再生ボタン P.12

II：一時停止ボタン P.14

マルチスピードボタン P.25

ステップボタン P.25

ラストメモリーボタン P.16

オープン／クローズボタン P.12 P.13

クリアーボタン P.22

●繰り返しモード、プログラムモード、または ランダム再生の解除、数字ボタン入力の訂正 などに使います。

チャプター／タイムボタン P.20

プログラムボタン P.22

オーディオボタン P.17

ディスプレイボタン P.26

■：停止ボタン P.14

ディスクサイドA・Bボタン P.12

● パイオニア製品のプリセットリモコン等において、LD操作部の■/▲ボタンではディスクテーブルの開閉ができないものがあります。

接続

基本操作編

表示窓

トラックナンバーまたはチャプターナンバーを表示します。

音声出力するチャンネルを表示します。

ドルビーAC-3対応LD再生中を示します。

プログラム再生中を示します。

サイドA インジケーター

残り演奏時間を表示します。

サイドB インジケーター

SIDE A　AC-3 RF　RPT　PGM　TOTAL　SIDE B　1 / L　2 / R

1　2　3　4　5　6　7　8　9　10　11　12　13　14　15　→

リピート再生中を示します。

フレームナンバーまたは経過時間を表示します。

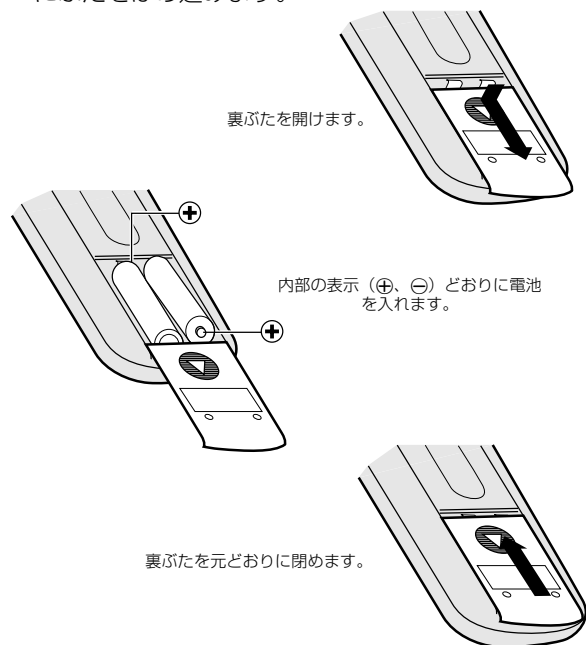
演奏面の総演奏時間（TOTAL）を表示します。

ディスクに収録されている曲番が点灯します。一部のLD（TOCなしディスク）では、再生しているチャプターだけ点灯します。16以上では→が点灯します。
プログラムでは、プログラムした曲番が点灯します。
ランダム再生中は、再生している曲番が点滅します。

■リモコンに電池を入れる

電池の入れかた

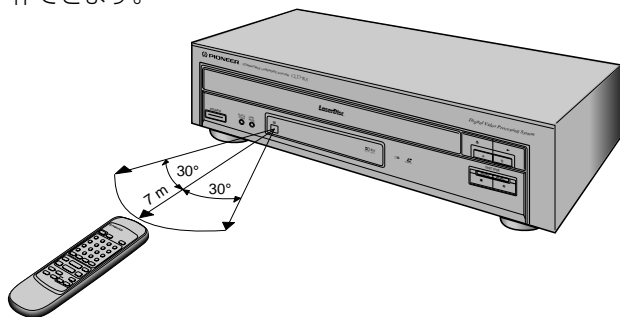
● 裏ぶたをはずし、乾電池2個を正しく入れ、もとどおりにふたをはめ込みます。

裏ぶたを元どおりに閉めます。

電池2本
〔単3形乾電池（R6P）〕

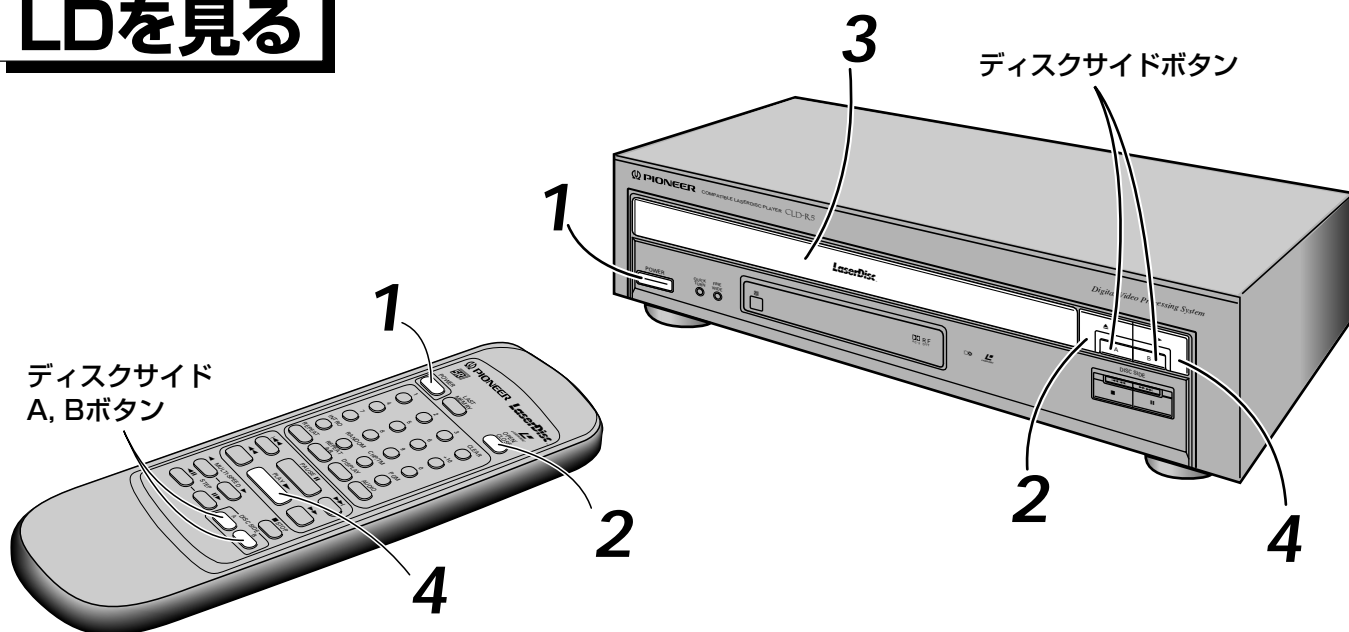
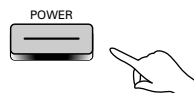
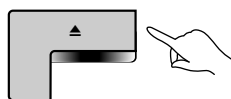
⚠〈電池についてのご注意〉
乾電池は誤った使い方をすると液漏れや破裂などの危険があります。次の点について特にご注意ください。

● 電池の⊕と⊖の向きは、リモコン内部の表示に合わせて正しく入れてください。
● 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
● 乾電池は同じ形状のものでも電圧の異なるものがありますから種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
● 乾電池には充電式と充電式でないものがありますので、混ぜて使用しないでください。また電池の注意表示をよく見てご使用ください。
● 電池の持続時間は、通常の使いかたで約6ヵ月です。長い間（1ヵ月以上）リモコンを使わないときは、必ず電池を取り出しておいてください。
● 万一、液もれが起ったときは、ケース内をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。
● リモコンの上に本などを置くとボタンが押されて電池が消耗してしまいますので、ご注意ください。

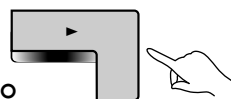
リモコンの操作

リモコンはプレーヤー前面部のリモコン受光窓に向けて操作します。プレーヤーからリモコンの距離は7 m以内、またリモコン受光窓を基準にして左右30˚までの範囲で操作できます。

● リモコン受光窓に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たると、誤動作することがあります。
● 背面のコントロール入力端子が他の機器に接続されている場合は、その機器のリモコン受光窓に向けて操作してください。本機に向けては操作できません。
(P. 8 参照)
● リモコンで操作するときは、電源ボタンを押して電源を入れてから操作してください。

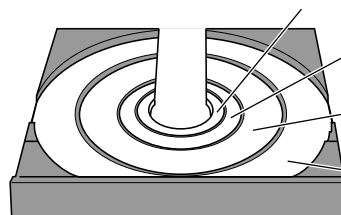
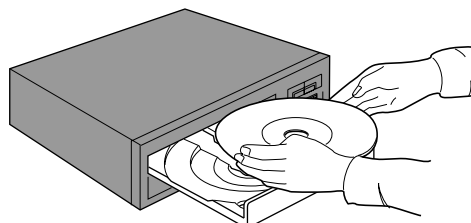
基本操作編

LDを見る

1 電源を入れる。

2 ディスクテーブルを開ける。

3 ディスクを置く。

LDの片面ディスクはレーベル面を上に、両面ディスクは見たい面を上にして、ディスクのガイドに合わせて置きます。

4 再生を始める。

ディスクテーブル

ディスクセットのご注意

ディスクテーブルの溝からずれてディスクをセットしたり、一度に2枚のディスクをセットすると正しく演奏できないばかりか、ディスクを傷つけたり故障の原因となります。また、ディスク以外のものをディスクテーブルにのせないでください。

A面、B面を指定して再生するには

LD両面ディスクでA面とはディスクテーブルにのせたときの表面をさし、B面は裏面をさします。ディスク自体に記録されたA面、B面とは異なります。

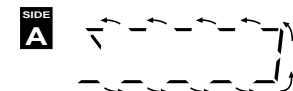
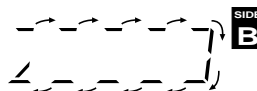
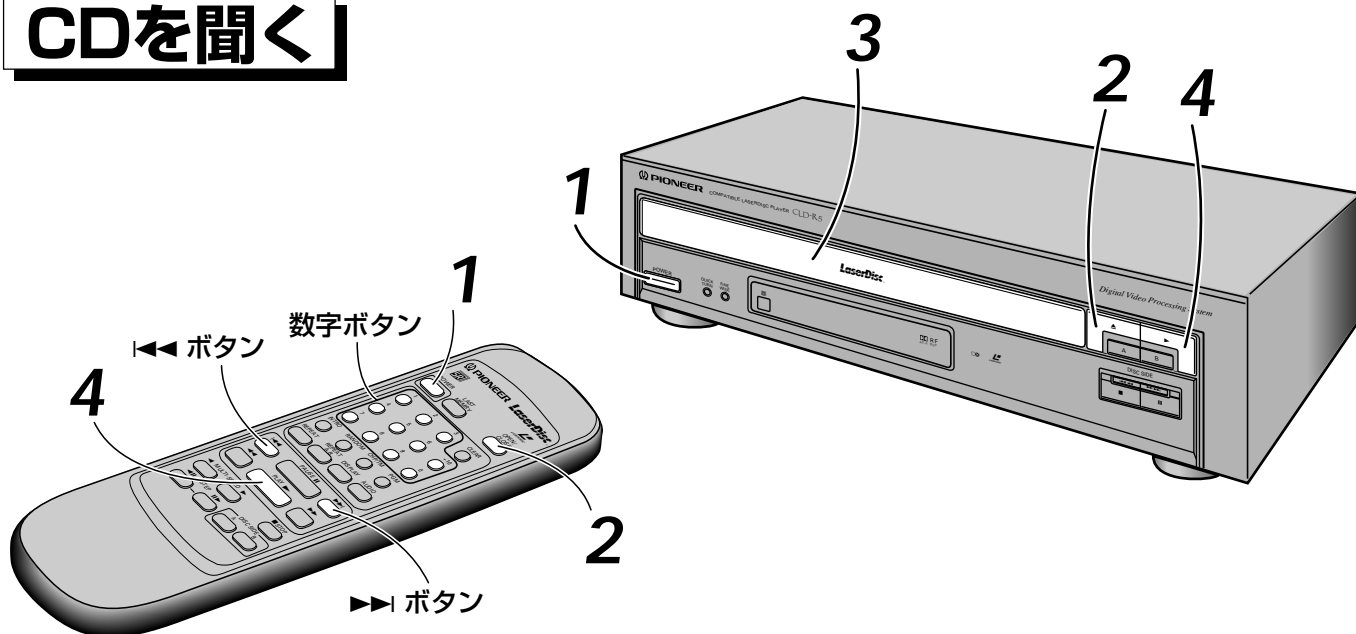
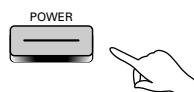
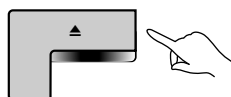
たとえば、SIDE Aと書かれたレーベル面を上にして置きA面だけを再生するには、**再生（►）ボタン**を押さずに**ディスクサイドAボタン**を押します。A面を再生後、停止します。

B面だけを再生するには、**再生（►）ボタン**を押さずに**ディスクサイドBボタン**を押します。B面を再生後、停止します。

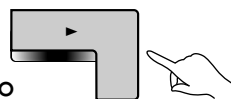
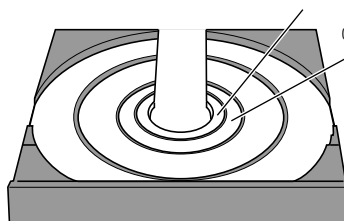
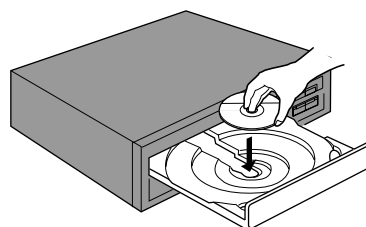
SIDE Bと書かれたレーベル面を上にして置くと、**Aボタン**でB面、**Bボタン**でA面を再生します。

面が変わるときの表示窓

● A面からB面へターン中

●B面からA面へターン中

CDを聞く

1 電源を入れる。

2 ディスクテーブルを開ける。

3 ディスクを置く。

レーベル面を上にしてディスクのガイドに合わせて置きます。

4 再生を始める。

聞きたい曲を選ぶには⏭ **ボタン**、⏮ **ボタン**、**数字ボタン**を押してください。

ディスクテーブル

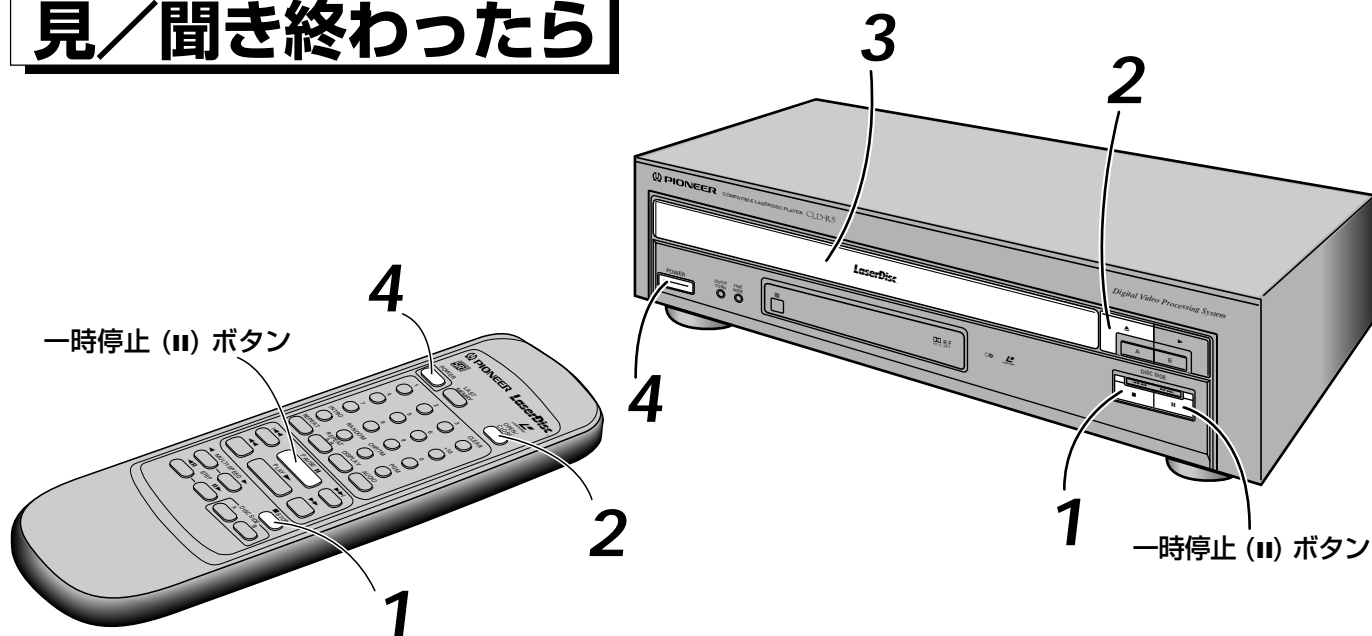
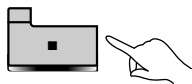
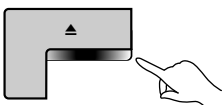
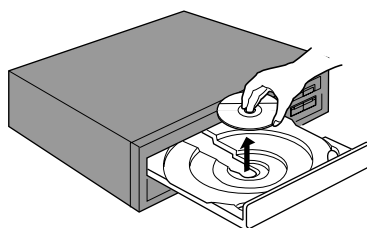
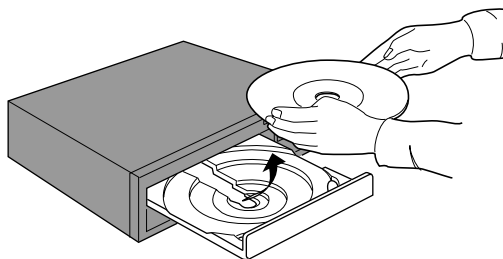
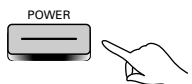
● CDVは映像（ビデオパート）から始まります。

便利な機能 **オートパワーオン機能**

● 電源がオフのときに、ディスクテーブルを出したい場合、**電源ボタン**を押さなくても、前面の**オープンクローズ (▲) ボタン**を押せば自動的に電源が入り、ディスクテーブルが出てきます。
● ディスクを入れたまま電源を切った場合は、前面の**再生 (►) ボタン**を押すと、自動的に電源が入り再生を開始します。

以上の機能はリモコンのボタンでは操作できません。

基本操作編

見／聞き終わったら

1 再生を中止する。

2 ディスクテーブルを開ける。

3 ディスクを取り出す。

4 電源を切る。

ディスクテーブルが閉まり、電源が切れます。

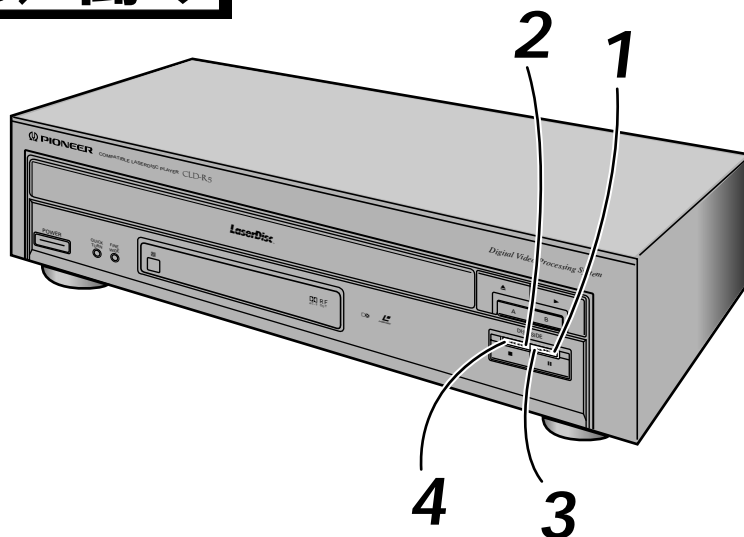
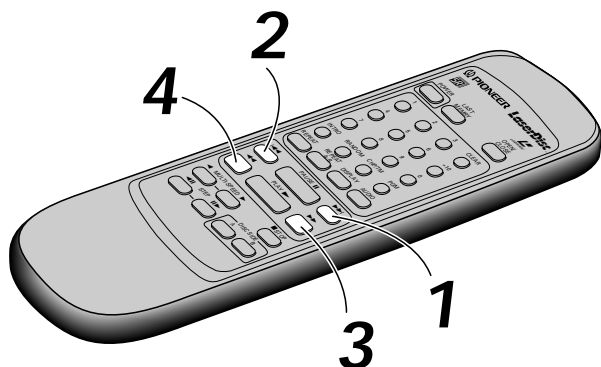
再生を一時止めるには（II）

一時停止（II）ボタンを押します。音や映像が消え、表示窓にIIが表示されます。もう一度、**一時停止（II）ボタン**を押すと、止めたところから再生が始まります。

- LDのCAVディスクでは、静止画になります。
- 長時間、一時停止状態のままにしておくと、モーター寿命を縮める原因となりますので、LDでは約20分間一時停止状態が続くと自動的に停止します。（ポーズタイマー）

便利な機能　**LDのつづきから見るには**

LDでは途中まで見たあと、あらためて続きから見ることができます。
くわしくは、16ページの「つづきから見る」をご参照ください。

今より前（後）を見る／聞く

チャプター／トラックを飛ばす

1 次のチャプター／トラックを見る（聞く）とき

押した回数だけ次のチャプター／トラックに進みます。

2 現在のチャプター／トラックの頭から見る（聞く）とき

さらに押すと前のチャプター／トラックに戻ります。

早送り／早戻し

3 今より少し先を見る（聞く）ときは

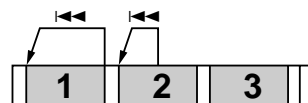
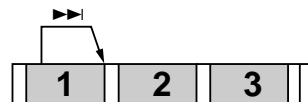
目的のところまできたら ▶▶ ボタンを離します。続きを再生します。

4 今より少し前を見る（聞く）ときは

目的のところまできたら ◀◀ ボタンを離します。続きを再生します。

チャプターって何？

LD では、いくつかのセクションを区切って番号付けしたものをチャプターと呼んでいます。
CD では、同様の区切りをトラックと呼んでいます。この操作は次の曲へ移るのと同じことです。

● 本体では、押し続けると、早送り／早戻しします。

クリアスキャンのしかた

リモコンの DISPLAY を押し、情報を画面表示させます。

そして、**▶▶ ▶▶| ボタン**または**|◀◀ ◀◀ ボタン**を押し続けると、画面の乱れない早送り／早戻しができます。

便利な機能　早送り／早戻し中の音声が聞けます

CDでは、早送り／早戻し中、デジタル音声付きLDではクリアスキャン中に小さな音が出ます。

ご注意

● ディスクによっては、チャプターが記録されていないものがあります。その場合、チャプター／トラックを飛ばすことはできません。
● LD で早送り／早戻しをすると画面は乱れますが、故障ではありません。

基本操作編

つづきから見る（LD）

すぐにつづきから見る

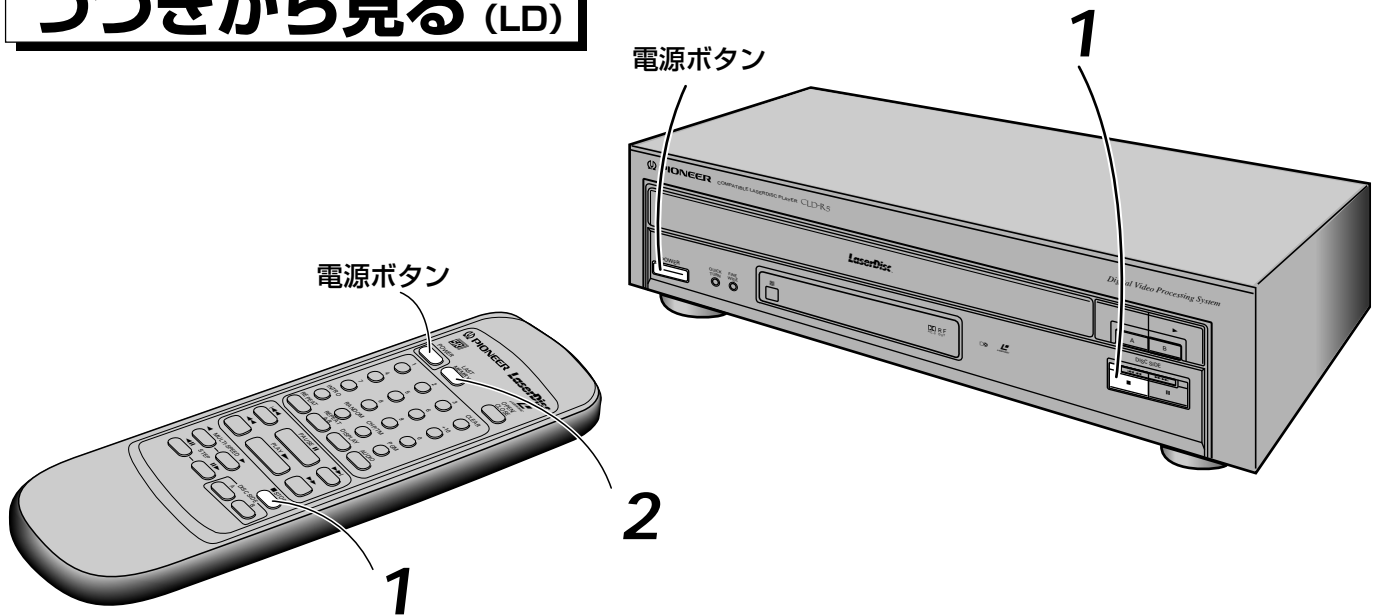
1 途中まで見て、停止（■）ボタンを押しLDを停止させる。

この後、**電源ボタン**を押して、電源をオフにしても記憶されたアドレスは消去されません。

2 電源を入れ、ラストメモリーボタンを1回押す。

LAST MEMORY

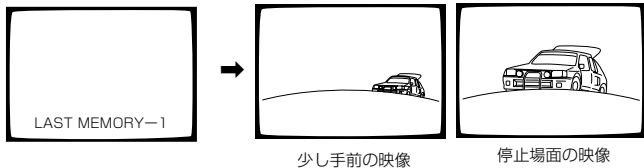
● 停止した少し手前から再生します。

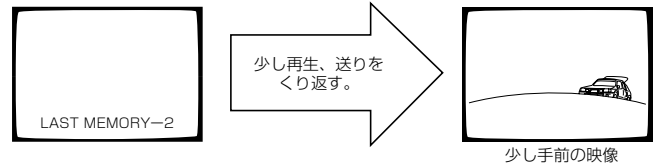
少し手前の映像　停止場面の映像

前のあらすじを見てからつづきから見る

1 途中まで見て、停止（■）ボタンを押しLDを停止させる。

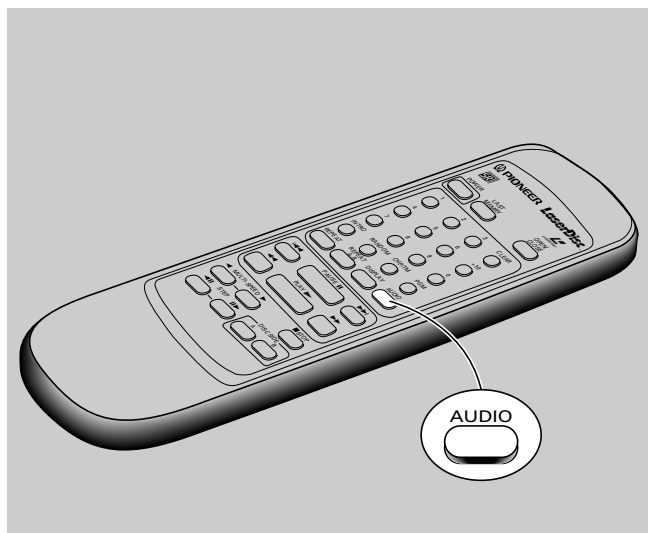
この後、**電源ボタン**を押して、電源をオフにしても記憶されたアドレスは消去されません。

2 電源を入れ、ラストメモリーボタンを続けて2回押す。

LAST MEMORY + LAST MEMORY

● ディスクの始めから再生・早送りをくり返し、停止した少し手前から再生だけをします。

少し手前の映像

ご注意

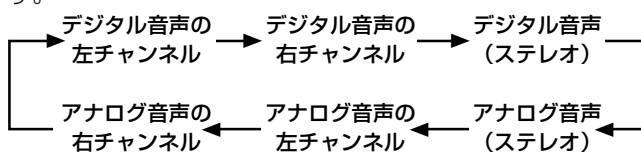
● LD再生だけの機能です。CD、CDVでは、つづき再生はできません。
● ディスクを入れたままにしてください。一度でも取り出した場合は、つづき再生はできません。
● 両面再生ディスクでB面再生中に停止した場合、つづき再生はB面から始まります。
● **停止（■）ボタン**で停止した後、**再生（►）ボタン**で再生すると、ディスクの始めから再生します。
● 電源コードは、必ず常に電源がきているコンセントにつないでください。（アンプなどのACコンセントにつなぐと、電源が切れてしまう場合があります。）

音声を切り換える

再生中に、**オーディオボタン**を押すごとに、音声が切り換わります。
例えば・・・
- デジタル音声付きディスクのアナログ音声を聞く
- 二ヶ国語ディスクで英語にする
- カラオケディスクでカラオケ演奏にする

CDおよびCDVの場合

→ステレオ音声 → 左チャンネル → 右チャンネル ─┘

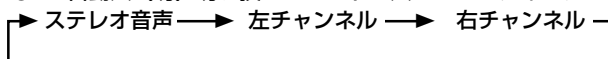
デジタル音声入りLDの場合

デジタル音声とアナログ音声およびステレオ音声の左チャンネル（L）と右チャンネル（R）を切り換えることができます。

音声	ステレオディスク	二ヵ国語ディスク
ステレオ	ステレオ	こんにちは HELLO 左から主音声　右から副音声
左チャンネル	左右から左の音声	こんにちは こんにちは 左右から主音声
右チャンネル	左右から右の音声	HELLO HELLO 左右から副音声

ご注意

アナログ音声のみのLDの場合は次のように切り換わります。

●CX自動入（切）切り換えのコードが入っているディスク

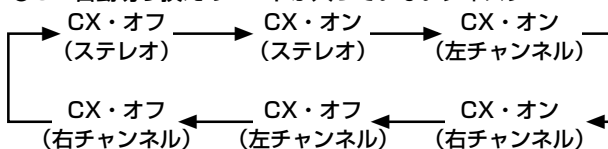
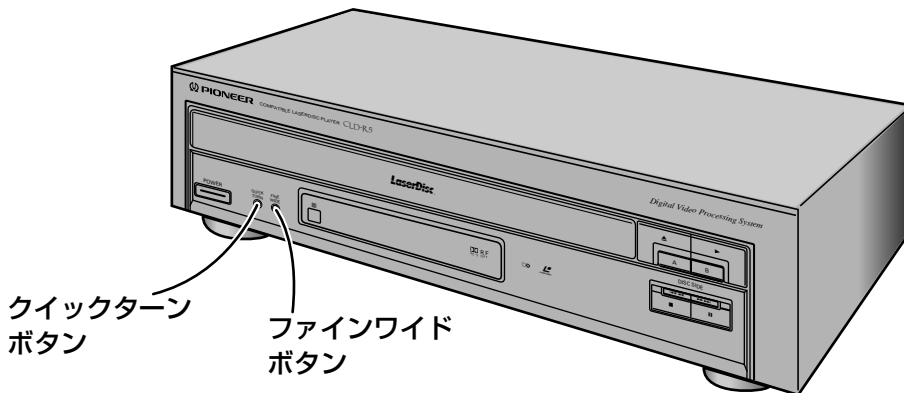
→ステレオ音声 → 左チャンネル → 右チャンネル ─┘

●CX 自動切り換えのコードが入っていないディスク

CX・オフ（ステレオ） → CX・オン（ステレオ） → CX・オン（左チャンネル） → CX・オン（右チャンネル） → CX・オフ（左チャンネル） → CX・オフ（右チャンネル） → （最初に戻る）

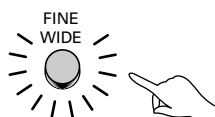
WHAT? CXマーク付きのLDについて

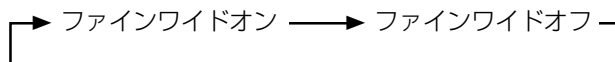
CXは、LDのアナログ音声に対して機能します。
CXマークの付いたLDでは、CXノイズリダクションシステムにより、雑音の少ない音を再生することができます。
CXマーク付きのディスクの中には、CXシステムを自動的に入・切するコードが記録されていないものがあります。この場合は、リモコンの**オーディオボタン**を押してCX・オンにしてください。
- CXはCBSの商標です。本プレーヤーはCXの伸張仕様に適合します。

基本操作編

応用操作編

映画ディスクを楽しむ

ディスクに応じてクッキリした画面を選ぶことができます。ワイドテレビでご使用になると効果的です。

ワイド画面でもクッキリした画面にするには（ファインワイド）

ファインワイドボタンを押す。

ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

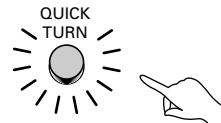
→ ファインワイドオン → ファインワイドオフ ─┘

ファインワイドオフ ：通常の画質（インジケーター消灯）
ファインワイドオン ：輪郭を補正してクッキリした画面（インジケーター点灯）

ご注意

ソフトや組み合わせるTVによっては、本機能を使用した場合、見ずらくなることがあります。その場合は、ファインワイドをオフにしてください。

再生開始時間、反転時間を短かくするクイックターン機能があります。

再生開始時間、反転時間を短くする（クイックターン）（LD）

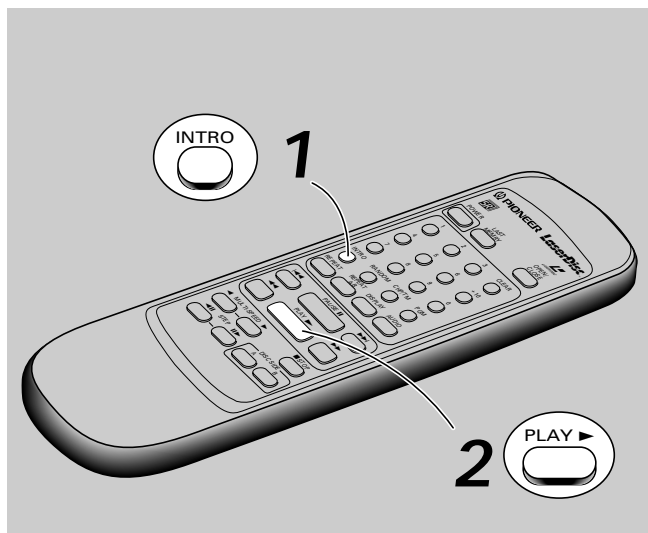
クイックターンボタンを押す。

インジケーターが点灯しているときはオンの状態を表しています。

● 最初に通電している電源プラグを差し込んで電源をオンにするとクイックターンオンの状態になっています。

● ランダム再生やディスク情報をみるときなどは**クイックターンボタン**を押し、ボタンを消灯させ、**再生（►）ボタン**を押して（このときTOC情報を読む）ください。
● ボタンが点灯しているときはディスクに記録されているTOC（Table Of Contents（テーブル オブ コンテンツ））を読み込まないため、再生開始時間、反転時間が短かくなります。
このためTOC入りLDであってもランダム再生、トータル時間、リメイン時間表示、標準（CAV）ディスクでの経過時間表示ができなくなります。

ご注意

● CDを再生すると自動的にボタンが消灯します。その後再びLDを入れると前の状態を記憶していますので、ボタンが点灯します。
● 1度電源をオフしても、クイックターンがオンかオフかを記憶していますので、再度電源をオンにした場合も前と同じ設定となります。

見たい（聞きたい）ところを探す（スキャン）

イントロスキャン

LDとCDVの**ビデオパート**の各チャプター／トラックの初めの8秒間を次々再生します。

1 イントロボタンを押す。

各チャプター／トラックの頭を約8秒間ずつ再生します。

2 見たい場面の所で、再生（►）ボタンを押す。

普通の再生に戻ります。

● ディスクの終りまでスキャンするとディスクの頭から普通の再生をします。

ハイライトスキャン

CDとCDVの**オーディオパート**の各曲の1分後の8秒間を次々再生します。。

1 イントロボタンを押す。

各トラックの頭から1分後を、約8秒間ずつ再生します。

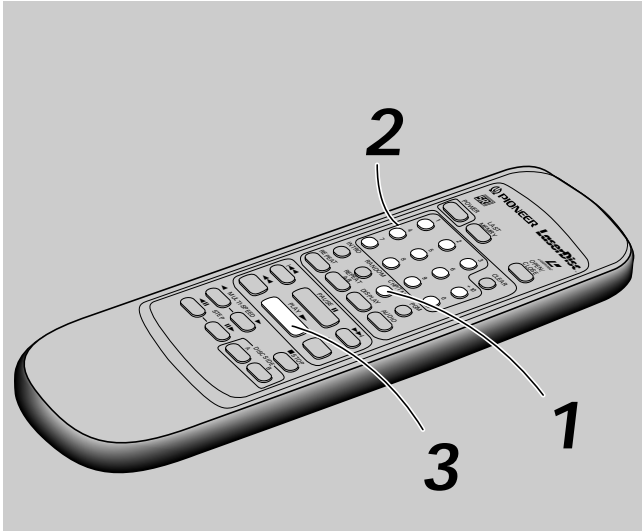
2 聞きたい曲の所で、再生（►）ボタンを押す。

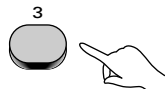
普通の再生に戻ります。

● ディスクの終りまでスキャンするとディスクの頭から普通の再生をします。

ご注意

● CDV はビデオパートをイントロスキャンしたあとオーディオパートをハイライトスキャンします。
● チャプターナンバーの記録されていないディスクは、イントロスキャンできません。
● 1 分以下の曲や33曲以降の曲は、曲の頭から約8秒間再生します。

見たい場面を探す（サーチ）

チャプター／トラック番号で直接探す（ダイレクトサーチ）

例：LDのチャプター3の始めから見る

チャプター／トラックナンバーが10以上のときは：
+10や0ボタンを使います。

〔例〕　17のとき：　+10 → 7

30のとき：　+10 → +10 → +10 → 0

チャプター番号で探す（ノーマルサーチ）

LDのときに動作します。

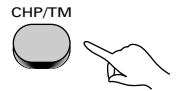
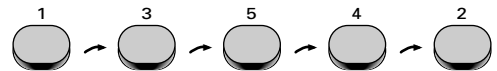
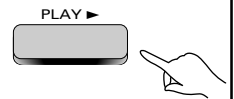
再生中に働きます。

〔例〕　17のとき：　CHP/TM → CHP/TM → 1 → 7 → PLAY ►

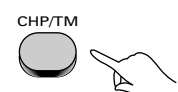
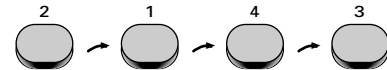
30のとき：　CHP/TM → CHP/TM → 3 → 0 → PLAY ►

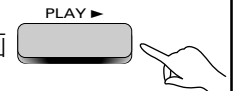
画面の番号で探す（フレームサーチ）

LDの**CAVディスク**のときに動作します。

1 **再生中にチャプター／タイムボタンを押す。**

2 **数字ボタンを押して、フレームナンバーを指定する。**
例：見たい場面のフレームナンバーが13542の時は

3 **再生（►）ボタンを押す。**
指定したフレームナンバーの画面で静止します。
もう一度**再生（►）ボタン**を押すと再生を始めます。

時間で探す（タイムサーチ）

LDの**CLVディスク**のときに動作します。

1 **再生中にチャプター／タイムボタンを押す。**

2 **数字ボタンを押して、タイムナンバーを指定する。**
例：見たい場面のタイムナンバー（時間）が21 分 43 秒のときは

秒の記録されていないディスクは分（2 ケタ）で指定します。

3 **再生（►）ボタンを押す。**
指定したタイムナンバーの画面から再生します。

ご注意

ディスクに記録されていないフレームナンバーやタイムナンバーを指定すると、ディスクの終りで一時停止になります。

繰り返して見る・聞く（リピート再生）

● 指定した場所を取消すには、**クリアーボタン**を押します。

リピート再生を止めるには

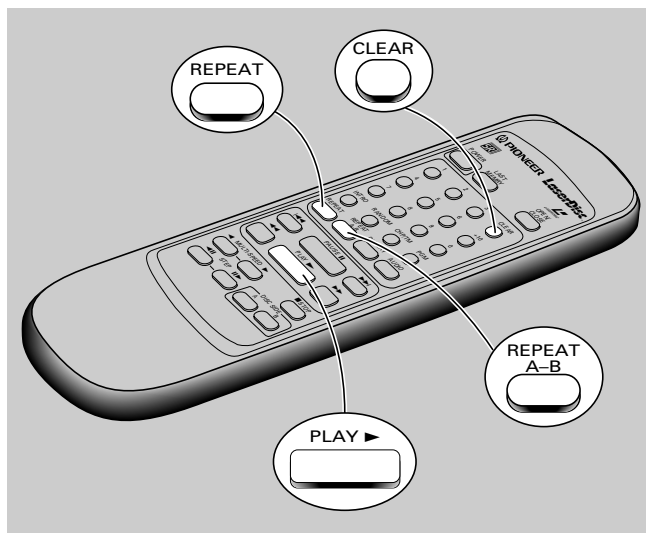
クリアーボタンを押します。または、**リピートボタン**を押し、リピートインジケーターを消します。リピートモードは解除されますが再生はそのまま続きます。

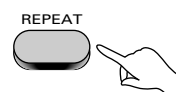
便利な機能 プログラムやランダムのリピート再生ができます。

プログラム再生中に**リピートボタン**を 1 回押します。
同様に、ランダム再生中に**リピートボタン**を1回押します。

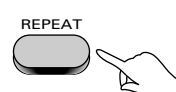
● プログラムについては22ページ、ランダムついては24ページをご覧ください。

ご注意

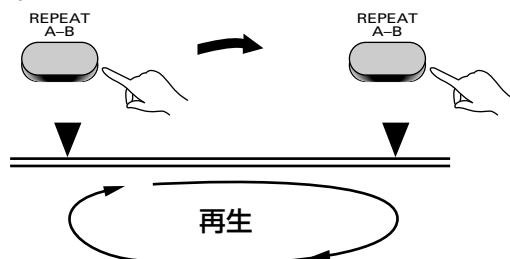
チャプターナンバーのない LD では、チャプター繰り返しはできません。このようなディスクでは、**リピートボタン**を1回押すと片面繰り返しになります。

トラック／チャプターをリピート再生する

繰り返したい曲やチャプターの再生中にリピートボタンを1回押す。

1回押す

ディスクの片面をリピート再生する

リピートボタンを2回押す。
終わりまで再生するとディスクの始めに戻り、繰り返し再生します。

2回押す

箇所を指定してリピート再生する

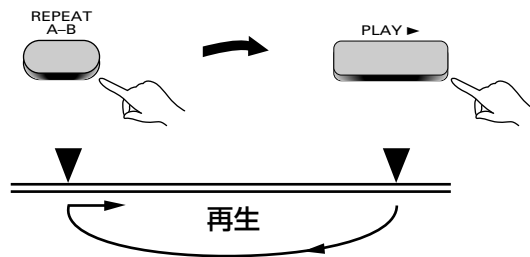
繰り返したい始めと終りでリピートA-Bボタンを押す。

● CDV の場合、オーディオパートとビデオパートにまたがっての繰返し再生はできません。

指定した場所に戻る

希望の場所でリピートA-Bボタンを押す。

戻りたいところで再生（►）ボタンを押す。

REPEAT A–B　PLAY ►

再生

ディスクの両面をリピート再生する

リピートボタンを3回押す。
A面からB面、B面からA面へと繰り返し再生します。

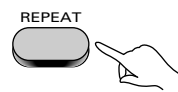
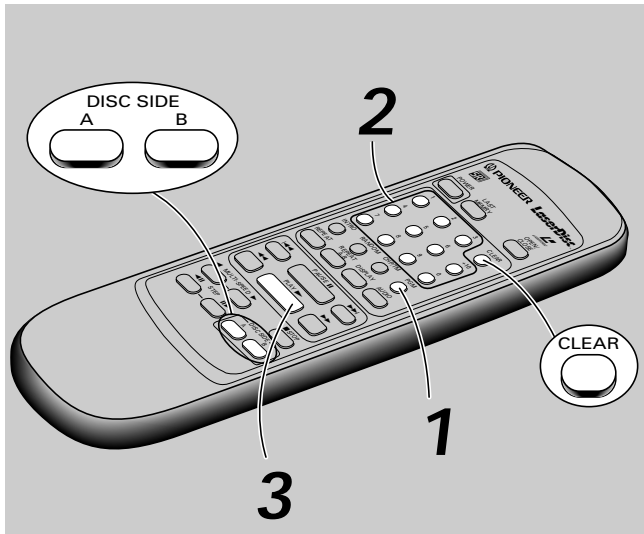
3回押す

応用操作編

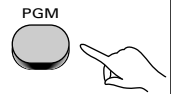
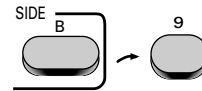
希望の順番に並び換えて再生する（プログラム再生）

● 設定したプログラムの再生が終わると停止状態になります。
● 数字ボタンを押し間違えたときは、**クリアーボタン**を押してから正しい**数字ボタン**を押してください。
● チャプターナンバーの記録されていないディスクではプログラム再生はできません。

プログラムを確認するには

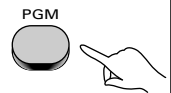
プログラム再生中やプログラム再生が終わったあとに**プログラムボタン**を押すと、プログラムした内容が画面に表示されます。もう一度**プログラムボタン**を押すと、プログラム内容表示が消えます。
● ディスクに記録されていないチャプターをプログラムすると、そのチャプターのところで再生を停止します。
● チャプターの移り変わりのときに一瞬プログラムしていないチャプターの画面が見えることがありますが、故障ではありません。

プログラム再生の設定（両面再生LDの場合）

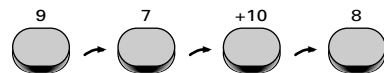
「B面チャプター9、A面チャプター7、B面チャプター18の順に設定する」までを例とします。

1 プログラムボタンを押す。

2 Bディスクサイドボタンを押し、次に数字ボタンの9を押す。

B面チャプター9が設定されました。
次にA面チャプター7、B面チャプター18を設定します。

3 再生（►）ボタンを押す。

プログラム再生の設定（片面再生LD、CD、CDVの場合）

「CDのトラック9、7、18の順に設定する」までを例とします。

1 プログラムボタンを押す。

2 数字ボタンの9、7、+10、8を押す。

CDのトラック9、7、+10、8が設定されました。

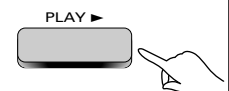
3 再生（►）ボタンを押す。

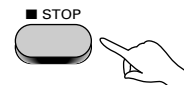
プログラム再生

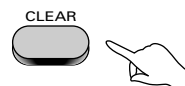
便利な機能　**一時停止（ポーズ）をプログラムする**

数字のかわりに**一時停止（⏸）ボタン**を押すとポーズがプログラムできます。
ポーズをプログラムしておくと、録音するときに大変便利です。

- テープの両面に録音するとき、片面に録音する最後のトラック／チャプターのあとにポーズをプログラムしておくと、一時停止のときにテープの録音面を替えられ、録音ミスを防げます。
- ポーズ状態のとき、ナレーションを吹き込んだり、無録音部分（サーチ操作などに必要）が作れます。ポーズ状態のとき、**一時停止（⏸）ボタン**をもう一度押すと、プログラム再生が引続き始まります。録音を再開してください。
- 最後のステップには、ポーズをプログラムすることはできません。

プログラムしたポーズの表示
画面では“⏸”、表示窓では“PA”が表示されます。

プログラム再生を止めるには

停止（■）ボタンを押す。

プログラムをすべて消すには

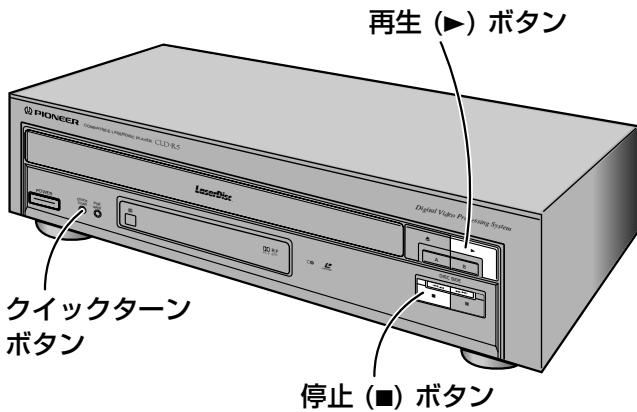
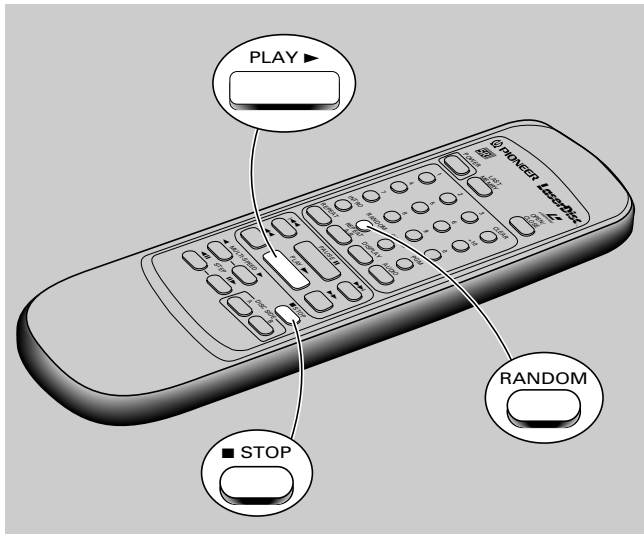
- ディスクテーブルを開ける。
- 停止状態でクリアーボタンを押す。

1曲ずつ削除するには

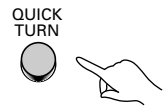
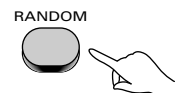
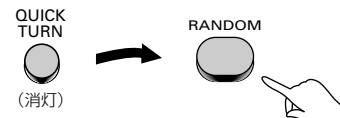
1 プログラムボタンを押す。

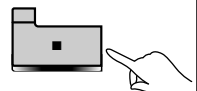
2 クリアーボタンを押す。
押すたびに後のプログラムから順に削除します。

- 再生中のチャプター／トラックとこれより前のプログラムは解除できません。

応用操作編

プレーヤーの選ぶ順番で再生する（ランダム再生）

ディスク片面の中の全ての曲を本機が順不同に並べ変えて再生します。ディスク片面の中の全曲の再生が終わると停止します。

クイックターンボタンが消灯していることを確認します。
点灯しているときは、押して消灯させて、停止ボタンを押してください。（再生中にクイックターンボタンを消灯させただけではTOC情報を読み込みません。）

ランダムボタンを押す。

● 両面再生LDでは、表面のみ**ランダム**再生します。

ランダム再生を止めるには

停止（■）ボタンを押す。

LDで裏面（B面）のランダム再生のしかた

まずクイックターンをオフにし、**ディスクサイドBボタン**を押して、その後**ランダムボタン**を押してください。

ご注意

- 両面（表裏）にわたるランダム再生はできません。
- LDではチャプター0（ゼロ）は、ランダム再生しません。
- プログラムした内容をランダムに再生することはできません。
- TOCのない LD では、ランダム再生できません。TOCについては30ページを参照ください。
- クイックターンがオンではランダム再生できません。
- チャプターの記録されていないLDではランダム再生はできません。

ランダム再生中に：

- ►►| **ボタン**を押すと、次にプレーヤーが選ぶ曲が再生されます。
- |◄◄ **ボタン**を押すと、現在再生中の曲を始めから再生し直します。
- **クリアーボタン**を押すと、ランダム再生が解除され、通常再生になります。現在再生されている曲のあとを順番に再生していきます。
- ランダム再生中に**ランダムボタン**を押すと、その時の再生順序は解除され、新たな再生順序でランダム再生を再開します。

トリック再生（LD標準ディスクCAV）

静止画／コマ送り再生

静止画再生ー画像を止めてみる

ステップボタン ◄II、II► を押す。

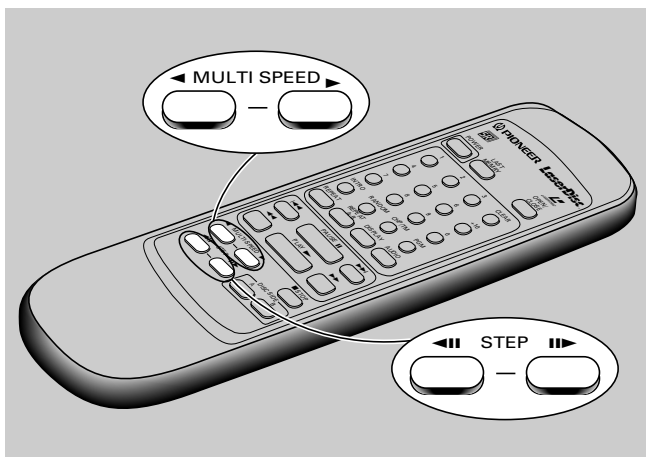
● 一時停止（II）ボタンでも静止画になります。

コマ送り再生ー画像を 1 コマずつ見る

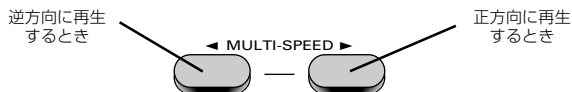
静止画の状態からステップボタン ◄II、II► を押す。

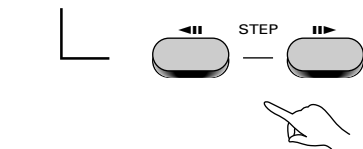
押すごとに1コマづつ戻ります。

押すごとに1コマづつ進みます。

押しつづけると連続してコマ送りができます。

速さを変えて再生する（マルチスピード再生）

再生スピードや方向を変えるには

マルチスピードボタンを押す。

初めに押すと、1/8の速さで再生します。さらに押すごとに、次のように再生する速さが変わります。

スピードの表示	速さ
1/8	ふつうの再生の1/8の速さ
1/2	ふつうの再生の1/2の速さ
×2	ふつうの再生の2倍の速さ
1/2	ふつうの再生の1/2の速さ
1/8	ふつうの再生の1/8の速さ
1/30	ふつうの再生の1/30の速さ

普通の再生に戻すには

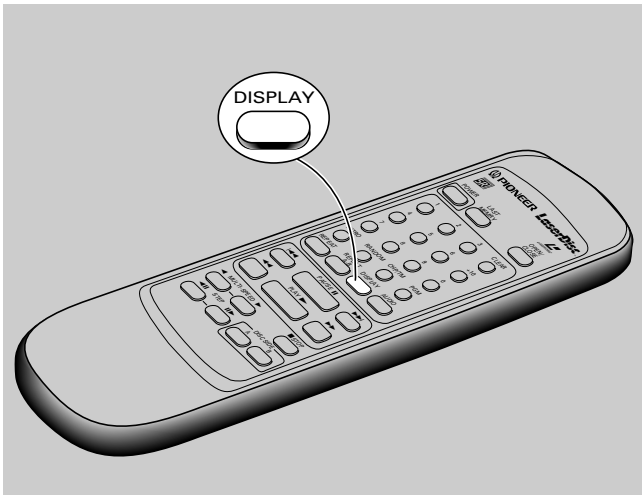
再生（►）ボタンを押します。

自動的に静止画になってしまった：

あるディスクの中には、ピクチャーストップコードという特別な信号を記録したものがあります。ディスクが入っているとき、前面パネルの**再生（►）ボタン**を2秒以上押すと、ピクチャーストップキャンセル機能が働き、ピクチャーストップコードのある画面にきても静止せず、再生をつづけます。この時、画面にPSC*ONと数秒間表示します。もう一度**再生（►）ボタン**を2秒以上押すと、画面にPSC*OFFと数秒間表示します。もとの状態に戻ります。
＊PSCとはピクチャーストップキャンセルのことです。

ご注意

● 静止画、コマ送り中、マルチスピード再生中の音声は聞こえません。
● 長時間ディスクCLVでは、マルチスピード再生、コマ送り、静止画はできません。CLV の再生中に**マルチスピードボタン**や**ステップボタン**を押すと画面に“CLV”の注意表示が数秒間でます。

情報を見る

クイックターン機能をオフ（ボタン消灯）にし画面表示ボタンを押すたびに次のように変わります。

	CDV または CD では	TOC 付き LD（標準ディスク）	TOC 付き LD（長時間ディスク）
①	再生中の曲の始めから再生中のところまでの経過時間	再生中のフレームナンバー	ディスクの始めからの経過時間
②	REMAIN TIME TRACK 再生中の曲の残り時間	＊ DISC TIME ディスクの始めからの経過時間	＊ REMAIN TIME ALL 再生中のところからディスクの最後までの残り時間
③	REMAIN TIME ALL 再生中のところからディスクの最後までの残り時間	＊ REMAIN TIME ALL 再生中のところからディスクの最後までの残り時間	＊ TOTAL TIME ディスクの始めから終わりまでの総再生時間
④	TOTAL TIME ディスクの始めから終わりまでの総再生時間	＊ TOTAL TIME ディスクの始めから終わりまでの総再生時間	画面表示が消える
	画面表示が消える	画面表示が消える	

● CDVの場合、再生中のパート（オーディオまたはビデオ）のトータルタイムです。

TOC なし LDでは：
フレームナンバー（標準ディスク）または、ディスクの始めからの経過時間（長時間ディスク）と画面表示が消えるが交互に切り換わります。

ご注意

- 何も操作せずに長時間（約80分）画面表示をしたままにしておくと、自動的に画面表示は消えます。いずれかのボタンを押すと、再び画面表示します。
- TCO付きLDであってもクイックターンがオンのときは＊の表示はしません。＊の表示を見たい場合は、クイックターンをオフにしてから一度再生を停止させ、再度再生させてください。

故障？ちょっと調べてください

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、プレーヤー以外の原因も考えられます。ご使用のテレビやステレオコンポーネント、および同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。下記の項目をチェックしても直らない場合はお買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

LD と CD 共通

	症状	考えられる原因	参照ページ
操作	1. ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう。	● ディスクが極端に汚れている。 ● ディスクがディスクテーブルに正しくセットされていない。 ● プレーヤーの内部が結露している。	29ページ 12、13ページ 3ページ
リモートコントロール	2. リモコンで操作できない。 3. テレビなどが誤動作する。	● 背面パネルのコントロール入力端子を使用している。 ● プレーヤーと離れすぎている。または、リモコン受光部との角度がありすぎる。 ● 電池が消耗している。 ● ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがある。	7ページ 11ページ 11ページ
音声	4. 音が出ない。音が歪む。	● 接続プラグの差し込みかたが不十分、または外れている。 ● 接続プラグや端子が汚れている。 ● ポーズモードになっている。 ● 音声ケーブルの接続が間違っている。 ● ステレオアンプの操作が間違っている。 （とくに、入力の選択が正しくされているか（CD、LD等）確認してください。） ● ステレオアンプの PHONO 入力端子と接続している。	6〜8ページ

LD

	症状	考えられる原因	参照ページ
映像、画質	5. 映像がでない。 6. 映像がでない、映像は出るが質が悪い、乱れる。 7. 静止画の一部がブレる。	● 画面の選択（ビデオ1、ビデオ2等）が間違っている。 ● ディスクが極端に変形（そりなど）している。 ● 接続プラグの差し込みが不十分、または外れている。 ● 標準ディスクでも動きの激しい場面では、静止画の一部がブレることがあります。	7ページ 5ページ
音声（LD）	8. 音声が波打ったようになる。 9. 音声がでない。 10. アナログ音声とデジタル音声とで音量差がある。	● CX マークのついていないディスクを CXシステムをオンにして再生している。 ● マルチスピード再生、静止画・コマ送り再生では音が出ない。 ● デジタル音声は、アナログ音声より大きな音量で記録されていることがあります。（故障ではありません。）	17ページ 25ページ
スキップ、サーチ	11. スキップ、プログラム、サーチができない。 12. サーチ時間が長い。（40 秒以上かかる） 13. スタート時間が長いものがある。 14. 指定したナンバーと違う場面を再生する。	● チャプターナンバーの記録されていないディスクを再生している。（チャプターナンバーの記録されていないディスクでは、チャプターを利用した機能は働きません。） ● ディスクが極端によごれている。 ● データの読み取りに時間がかかる場合がある。（故障ではありません。） ● データの読み取りに誤りがある場合がある。（故障ではありません。）	29ページ ――――

故障？ちょっと調べてください

CD

	症状	考えられる原因	参照ページ
操作（CD）	15. 再生を始めてもすぐに止まってしまう。	●ディスクが極端に汚れている。 ●ディスクの裏表が逆にセットしてある。 ●ディスクがディスクテーブルに正しくセットされていない。	29 ページ 13 ページ 13 ページ

ご注意：
静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

自己診断機能について

本機は自己診断表示機能を持っています。
本機をご使用中に異常を検出すると、本体表示部およびTV画面に以下の表示（サービス番号）を自動的に表示します。まず、「対応のしかた」に従ってください。

本体表示部

本体表示部

サービス番号	本機の状態	対応のしかた
U1 U2	ディスクが正しくセットされていないと考えられます。 ディスクが正しくセットされている場合は、ディスクの汚れが原因と考えられます。	●ディスクをディスクテーブルの溝にそってセットしなおしてください。 ●ディスクを柔らかい布で拭いてください。 一度ディスクテーブルを開けてから、もう一度**再生（►）ボタン**を押してください。
F5 P2 L3 E3 E4 E9	ディスクが2枚重ねてセットされていると考えられます。 ディスクが 1 枚セットされている場合は、ディスクの汚れが原因と考えられます。 （P、F、L、E以降の数字は本機の状態によって変わります。）	●ディスクを 1 枚だけディスクテーブルにセットしてください。 ●ディスクを柔らかい布で拭いてください。 ●一度ディスクテーブルを開けてから、もう一度**再生（►）ボタン**を押してください。 ●再度同じ表示がでた場合は異常と考えられます。 修理を依頼されるときに、本体表示部または TV 画面の表示（サービス番号）をお知らせください。 （例えば「**E4**」と表示しているときは、「サービス番号、**E4**」とお知らせください。）
H0 H1 H2	異常と思われます。	●修理を依頼されるときに、本体表示部または TV 画面の表示（サービス番号）をお知らせください。 （例えば「**H1**」と表示しているときは、「サービス番号、**H1**」とお知らせください。）

お手入れ

正しく、末永くお使いいただくために

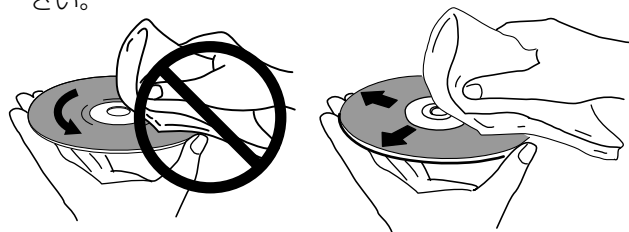
■本機のお手入れ

本機の表面は柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を 5〜6 倍に薄めた液に柔らかい布を浸し、良く絞ったあと汚れを拭き取り、その後かわいた布で拭いてください。ベンジン、シンナー、アルコールなどを使うと表面の仕上げを傷めるので、使用しないでください。また、化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。

■LD/CD レンズクリーナーについて

ピックアップレンズは、通常汚れるものではありませんが、ご使用中にほこりなどにより不具合が発生したときは、アフターサービスの項をお読みの上、修理をご依頼ください。なお市販されている LD/CD レンズクリーナーには、レンズを破損する恐れのあるもの、あるいはディスクが取り出せないものがありますのでご注意してください。

■ディスクの手入れ

- ディスクに指紋やホコリがついた場合でも、ディスクに記録された信号には直接影響しませんが、汚れにより信号記録面からの反射光の明るさが低減して音質が低下する場合があります。いつもきれいに清掃することを心掛けてください。清掃する場合には柔らかい乾いた布またはエチルアルコールでディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

円周方向へは拭かないでください

内周から外周方向へ軽く拭いてください

- レコードスプレー、静電気防止剤などは使用できません。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけると表面が侵されることがあります。ご注意ください。

その他

用　語

LD 用語

チャプターナンバー

ディスクをいくつかのセクションで区切り、番号付けしたナンバーです。本の“章”番号に相当します。このチャプターナンバーが記録されていれば希望のセクションを素早く見つけるチャプターサーチなどの操作ができます。

● ディスクによってはチャプターナンバーが記録されていないものもあります。

フレームナンバー

標準ディスクCAVのすべての画面（フレーム）ごとに記録された番号です。希望のシーンをこのフレームナンバーで探すフレームサーチなどの操作ができます。

タイムナンバー

長時間ディスクCLV 、またはTOC付きの標準ディスクCAV に記録された、ディスクの最初から再生経過時間です。CLVでは、希望のシーンをタイムナンバーで探すタイムナンバーサーチなどの操作ができます。

CDV/CD 用語

トラックナンバー

曲番号のことです。CDV ディスクではオーディオパートからビデオパートにわたってトラックナンバーが記録されています。希望の曲を素早く見つけるトラックサーチなどの操作ができます。

TOC

すべてのCD、CDVディスクには音声信号以外のTOC（Table（テーブル） Of（オブ） Contents（コンテンツ））という情報がディスクの始めの部分に記録されています。その名のように、本の目次に相当し、曲数や演奏時間の情報が入っています。

● LD ディスクにも TOC が記録されているものがあります。

● TOC 付き LD と CDVは、同じ「光学式デジタル音声付きビデオディスクシステム」の仲間です。

グラフィックスディスク

映像や音声信号以外にサブコードというデータが記録されています。このデータにグラフィックスが記録されています。

LDグラフィックスディスク：サブコードに映画の台詞や歌の歌詞などが記録されています。

CDグラフィックスディスク：カラオケ用の歌詞やカラオケ演奏を盛り上げるグラフィックス（絵）などが記録されています。

● グラフィックス表示を楽しむには、別売のレーザーディスクグラフィックスデコーダー（別売）が必要です。（8ページ参照）

LD（レーザーディスク）

レーザーディスクには、信号の記録方式により標準ディスク（CAV）と長時間ディスク（CLV）があります。

CAV

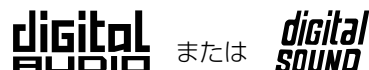
ディスクのジャケット、またはレーベルに〔標準ディスク／CAV〕、または〔Standard（スタンダード） Play（プレイ）〕と表示されています。

CLV

ディスクのジャケット、またはレーベルに〔長時間ディスク／CLV〕、または〔Extended（イクステンド） Play（プレイ）〕と表示されています。

デジタル音声付きレーザーディスク

アナログ音声信号に加えて、デジタル音声信号も合わせて記録されたディスクです。レーザーディスクの高品質の映像とデジタルサウンドが同時に楽しめます。

digital AUDIO または digital SOUND

デジタル音声付きマルチオーディオディスク

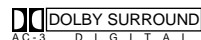
デジタル音声、アナログ音声それぞれに異なった内容の音声が記録されています。

digital AUDIO と MULTI AUDIO または digital SOUND MULTI AUDIO

デジタル音声、アナログ音声を切り換えて、それぞれの音声をお楽しみいただけます。

ドルビー サラウンドAC-3ディスク

映画館用サラウンドシステム (Surround Digital) の6チャンネル分の音声をAC-3で圧縮されたデジタルデータを従来のアナログチャンネル (Rチャンネル) に記録されています。

DOLBY SURROUND AC-3 DIGITAL

ドルビーサラウンドAC-3ディスクを楽しむには、本機のAC-3 RF出力端子をアンプやプロセッサーのAC-3 RF入力へ接続することが必要です。

CDV（ビデオ付きコンパクトディスク）

ビデオパート付きのCDです。CDVの再生時間、25分のうち 20分に通常のCDと同じデジタルオーディオ音声が記録されています（オーディオパート）。残りの5分に映像とデジタルオーディオ音声が記録されています（ビデオパート）。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間はご購入日から 1 年間です。

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後最低 8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談は

お買い上げの販売店または、最寄りの当社サービスステーションをご利用ください。
所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口·修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるときは

27～28 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、サービス番号（エラー表示）が表示されているときは、それをメモして、必ず電源プラグを抜いてから、お買上の販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

連絡していただきたい内容について：

- **品名　コンパチブルレーザーディスクプレーヤー**
- **品番　CLD-R5**
- **お買上げ日**
- **故障の状況「できるだけ具体的に」「ディスクのタイトル」「サービス番号」**
- **ご住所　「付近の目印も合わせてお知らせください」**
- **お名前**
- **電話番号**
- **訪問ご希望日**

保証期間中は：

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。

保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

仕　様

一般

形式 .... レーザーディスクシステムおよびコンパクトディスクデジタルオーディオシステム
使用レーザー .... 半導体レーザー：波長 780nm
電源 .... AC100V、50/60Hz
消費電力 26W
重量 6.4kg
外形寸法.. 420（幅）×405（奥行）×132（高さ）mm
許容動作温度 .... +5℃～+35℃
許容動作湿度 .... 5%～85%（結露のないこと）

S映像出力<2系統>

Y出力レベル .... 1Vp-p（75 Ω）
C出力レベル .... 286mVp-p（75 Ω）
出力端子 .... S端子

ビデオ出力<2系統>

出力レベル .... 1Vp-p（75 Ω 負荷時、同期負）
出力端子 .... ピンジャック

オーディオ出力<2系統>

出力レベル
　アナログ音声出力 .... 200mVrms（1KHz、40%）
　デジタル音声出力 ..... 200mVrms（1KHz、−20dB）
チャンネル数 2チャンネル

デジタル音声特性

項目	特性
周波数特性	4Hz～20KHz
SN比	102dB（EIAJ）
ダイナミックレンジ	92dB（EIAJ）
全高調波ひずみ率	0.0055%
ワウ・フラッター	測定限界（±0.001%W.PEAK）以下（EIAJ）

LD は EIAJ に準拠

その他の端子

光デジタル出力 .... 光コネクター
AC-3RF出力 .... ピンジャック
コントロール入力／出力 .... ミニジャック（3.5 φ）

付属品

リモコンユニット 1
単3形乾電池（R6P） 2
オーディオコード 1
ビデオコード 1
電源コード 1
取扱説明書、安全上のご注意、保証書、
ご相談窓口・修理窓口のご案内 各1

● 本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

お客様メモ

● おぼえのため記入されますと便利です。

ご購入店名	住　所 電話番号	お近くの ご相談窓口	住　所 電話番号
ご購入年月日	年　　月　　日	型　番	この機種は CLD-R5 です。

＜各窓口へのお問い合わせの時のご注意＞
市外局番「0070」で始まるフリーフォン及び「0120」で始まるフリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

●家庭用オーディオ/ビジュアル商品　■0070－800－8181－22　■一般電話　03－5496－2986

■ファックス　03－3490－5718

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

愛情点検

長年ご使用のAV機器の点検を!

このような症状はありませんか	・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。 ・電源コードにさけめやひび割れがある。 ・電源が入ったり切れたりする。 ・本体から異常な音、熱、臭いがする。

ご使用中止	故障や事故防止のため、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

LaserDisc　レーザーディスクは、パイオニアの商標です。

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<08B00001>　<VRA1131-C>